

鶏への飼料用粃米の効率的な給与方法

福島県農業総合センター 畜産研究所養鶏分場

1 部門名

畜産一鶏一畜産栄養

2 担当者

宮野英喜・佐藤妙子・荒川英恵・佐藤茂次

3 要旨

国内で生産された飼料用米(粃米)の効率的利用を図るため、鶏用飼料中に含まれるトウモロコシを粃米に代替した飼料を作製し、粃米の効率的給与技術を開発する。

本試験では消化性に関与する半量破碎粃米の利用およびグリッド(小石:直径 2mm 大の粒炭酸カルシウム:添加量 1%)の添加効果を検討した。

(1)飼料用粃米の粒の形状の比較では、雌の半量破碎区では6週齢以降の体重およびと体重が有意に大きくなり、17週齢体重で 226g、と体重で 220g 大きくなった(図1)。解体成績は雌では、半量破碎区が全粒粃米区と比較し、モモ肉で 55g、ムネ肉で 33g 大きくなった(データ略)。

(2) 飼料に添加したグリッドの効果は、雄雌共に有意差は無かったが、半量破碎区に添加した場合は増体量と飼料要求率が良くなる傾向があり、全粒粃米区に添加した場合は増体量と飼料要求率が低下する傾向が見られた(データ略)。解体成績ではモモ肉でグリッドを添加した全粒粃米区が有意に小さくなった(データ略)。以上の結果から、鶏に飼料用粃米を給与する場合は、特に雌で粃米の破碎が有効であり、また、破碎粃米にグリッドの添加が効果的と推察された。

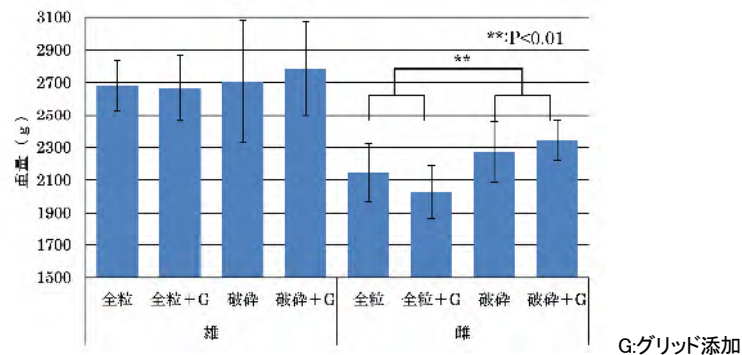


図1 と体重

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成24年度～25年度

(2) 研究課題名 飼料用米の効率的給与技術の確立 ア 粃米の栄養特性評価 (イ)補助栄養素の添加による飼料価値の向上 b グリッド添加等による物理的消化性向上の検討

(3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

(1) 平成25年度センター試験成績概要